

科目名	現代の国語（R4 課程）				単位数	2 単位
教材	教科書：新編 現代の国語（東京書籍）				添削指導（レポート）	全 6 回
	副教材：新編 現代の国語 学習書（NHK 出版）				面接指導（スクーリング）	2 時間
学習評価 （観点別評価）		添削指導	面接指導	定期試験	放送 ※希望者のみ （東京書籍インターネット講座）	減免可能 1 時間まで
	知識・技能	60%		40%		
	思考・判断・表現	60%		40%	定期試験	前期 1 回 後期 1 回
	主体的態度	80%	20%	0%		
単位の認定	①レポート：規定回数のレポートを提出し、合格すること。 ②スクーリング：規定回数の全ての回に出席すること。 ③定期試験：前期試験、後期試験を受けること。 ④評定は、観点別評価をふまえ総合的に判断する。達成状況と評定の関係は次の通りとする。 〔～2 割：1、2 割～4 割：2、4 割～7 割：3、7 割～9 割：4、9 割～：5〕					

指導計画			
科目の目標	言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1)生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。 (2)論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。 (3)言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。		
単元・学習内容	スクーリング回	レポート回	放送（東京書籍インターネット講座）
自己を見つめる ・筆者独自の考え方を読み取り人それぞれが持つ意識の世界に思いをはせるとともに、自分に当てはめて考える。	1	1	①教科書の内容に対応する動画をすべて視聴すること。 ②単元テストの問題にすべて取り組むこと。
他者に出会う ・評論の書かれ方を理解し、読み方を知る。 ・対比による強調から、筆者の主張を読み取る。		2	
言葉と生活 1 視野を広げる ・分かりやすい説明のポイントを理解する。 ・複数の文章を読み比べ、自分の考えを深める。 ・文章中の具体例の役割を押さえながら読み、筆者の価値観と主張をつかむ。	2	3	①②を完了した場合、面接指導（スクーリング）の出席回数を最大で 2 時間減免できる。
社会と関わる ・働くことについて書かれた文章を読み筆者の思いに触れ、働くということについて考える。 ・調べたことを整理して、考えたことを分かりやすくまとめる。		4	
言葉と生活 2 ・思考・発想を広げる方法について確認する。 ・発想を広げてアイデアを整理し、まとめる。 ・意見文を書いた例を参考に、意見文の書き方を確認する。		5	

言葉と生活2 世界とつながる ・相手意識を持って言葉を選ぶ意識を持つ。 ・推論の仕方を理解し、日常で使えるようになる。		6	
---	--	---	--